



ひらばる れな

mazecoze研究所代表・編集長。

「ダイバーシティから生まれる価値」をテーマに企画立案からプロジェクト運営、ファシリテーション、コーディネートまで行う。

人材教育会社にて障害者雇用促進、ユニバーサルデザインなどの研修企画・講師・書籍編集に携わった後に独立。ダイバーシティプランニングを行う「hullabaloo」代表、ソーシャルデザインのしくみをつくる

「PReNippon」共同代表、ノウフクPROJECTファシリテーター、久遠チョコレート広報など、様々なプロジェクトを推進。

(関連記事リンク先：<https://mazecoze.jp/tag/hirabaru>)



石田 恵海 (いしだ えみ)

つくるめぐみ代表

得意なテーマは自ら実践する「田舎暮らし」「女性の起業」「自由教育」。八ヶ岳ガストロノミーレストラン「Terroir愛と胃袋」女将であり、「自分らしい生き方」などをテーマとした編集・ライターでもあり、三兄弟の母でもあり、こどもたちをオルタナティブスクールに通わせている。「誰もが、オシャレしてメシ食って恋して仕事して、最期まで自分を生きられる、自立した社会づくりに貢献すること」を理念に活動。2020年より古民家一棟貸しの宿、棚田を愛でながらコーヒーを楽しむカフェ・ギャラリーも開業する。Terroir愛と胃袋：<http://www.aitoibukuro.com/>

(関連記事リンク先：<https://mazecoze.jp/tag/ishida>)



ぐろ

歯学博士、共用品ネットM&Cプロジェクト元リーダー、お笑い芸人歯学部最終学年に顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーであることが判明。大学院を卒業した後、ユニバーサルデザイン系ボランティア団体共用品ネットにて視覚障害者に向けた触覚識別方法を提案するプロジェクトにリーダーを務める。その間、カードの触覚識別方式TIMのISO規格化(ISO/IEC 7811-9)に携わる。

近年は同病の仲間とお笑いコンビ「エログロナンセンス」を結成。ネタ担当。バリバラ(Eテレ)に数度出演。東京生まれ東京育ちの酒をこよなく愛するアラフィフ。

(関連記事リンク先：<https://mazecoze.jp/tag/guro>)



明石 誠一 (あかし せいいち)

明石農園代表

タネは固定種で農薬、肥料を使わない生物多様性を活かした自然栽培農家。農業サイドから福祉やコミュニティ作りを行なっている。

畑や林でのイベント主催、農業指導、共著書籍も出版。明石農園が舞台となるドキュメンタリー映画「お百姓さんになりたい」も2019年より全国で上映されている。

林の演奏会や家庭菜園をコミュニティの場としてさらに拡大中。大学までサッカーに夢中。美術好き。3児の父親で、晩酌が楽しみ。お休みは家族でキャンプ。あかし野菜：<http://akashiyasai.com/>

(関連記事リンク先：<https://mazecoze.jp/tag/akashi>)



宇樹 義子 (そらき よしこ)

発達障害当事者ライター

高機能自閉症と複雑性PTSDを抱える。大学入学後、10年ほど実家にひきこもりがちに。30歳で発達障害を自覚するも、心身の調子が悪すぎて支援を求める力も出なかった。追いつめられたところで、幸運にも現在の夫に助け出される。その後発達障害の診断を受け、さまざまな支援を受けながら回復。在宅でライター活動を開始。著書に『発達系女子の明るい人生計画ーひとりぼっちの発達障害女性、いきなり結婚してみました』がある。その他、発達障害やメンタルヘルスをテーマとした雑誌などに寄稿。精神医学などについての勉強を重ねつつ、LITALICO仕事ナビなどの福祉系メディアでも活動している。

公式サイト: <https://sorakiyoshiko.com/> Twitter: <https://twitter.com/decinormal1>

(関連記事リンク先: <https://mazeoze.jp/tag/soraki>)



あだち先生

株式会社あだちのYEAH代表取締役 / アナログゲームマスター

京都出身、一児の母。仕事のご依頼を受けるとド派手なピンクの衣装に身を包みアナログゲームマスター「あだち先生」に変身！人数や用途に合わせてゲームを選別現場まで持ってルール説明をするアナログゲームのケータリング！その名も「おでかけゲームマスター」として、あちこちのホームパーティーに登場。近年では、東京おもちゃ美術館などのイベントを始め、企業研修、プライダルなどアナログゲームを使ったイベントを提案、企画まで行い、舞浜の商業施設イクスピアリのメインステージでは、アナログゲームを作るワークショップを展開し、のべ1000人を動員。公式サイト: <http://adachi-yeah.in/>

(関連記事リンク先: <https://mazeoze.jp/tag/adachi>)



kana

コンシェルジュ、翻訳家

米国大学にてElementary Educationの学位取得。

外資系ホテルでコンシェルジュを経て、独立。

フリーランスでコンシェルジュ業、翻訳等の仕事をしながら、steam教育、gifted 発達障害等ダイバーシティ勉強中。

(関連記事リンク先: <https://mazeoze.jp/tag/kana>)



福留千晴 (ふくどめ ちはる)

「地域と食のしごと」NORTHERN LIGHTS代表

鹿児島県出身、実家は大隅半島で芋焼酎の芋を育てる農家。カナダ・モントリオールでの映画学専攻や10カ国以上へのバックパッカー経験、広告会社勤務を経て、現在は中小企業や自治体においてソーシャル&ローカルデザインのプランニングからプロデュース、クリエイティブ、PRまで一貫して行う。2017年、経産省「BrandLand Japan」にて全国12商材の海外展開プロデューサーに就任。焼酎きき酒師、日本デザイナー学院ソーシャルデザイン科講師。

(関連記事リンク先:

<https://mazeoze.jp/tag/%E7%A6%8F%E7%95%99%E5%8D%83%E6%99%B4>)